



ヨゼフ アベイヤ 司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人
カトリック福岡教区
編集人 山元 真
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡教区
定価 1部70円

10月の意向

【教皇の意向】すべての人に
開かれた教会
【日本の教会】医療従事者
教皇様の意向のために祈りましょう

「あなたがたはわたしの証人となる」
福音宣教月間に寄せる願い
福岡教区長 ヨゼフ・アベイヤ司教

毎年10月、「世界宣教の日」にフランシスコ教皇はメッセージを発表します。今年「使徒たちの宣教」1章8節の「わたしの証人になるように」というイエスのことばを引用しながら、すべてのカトリック信者に福音宣教の使命をしっかりと受け止めるよう呼びかけています。メッセージの最後には「教会が宣教に励む教会になり、キリスト者のすべての共同体が福音宣教の決意を新たにすることを切望しています」とあります。福岡教区は、教皇様の呼びかけに耳を傾け具体的に応えたいと思います。復活祭に発表された「宣教司牧方針」がそのための道具になれば嬉しく思います。



福岡教区宣教司牧評議会

福岡教区の宣教司牧を推進し、また、教区のすべての共同体の一致を深めていくために、福岡教区宣教司牧評議会を立ち上げます。皆さんの理解と協力で心から感謝します。宣教司牧評議会の目的と使命は、その規約に明記されています。第二バチカン公会議で示された教会を実現しています。宣教司牧評議会は、「教区司教の権威のもとに、教区における宣教司牧活動に関する事柄を研究・検討し、それについての実際の結論を提示し、その実施を推進することを目的とする」(教会法511条参照)。とても大事な場です。信徒、修道者、司教、司教は、「ともに」聖霊の導

2022年10月23日
世界宣教の日・献金
キリストの弟子であるわたしたちにとって、キリストを伝えることである宣教は皆に与えられている使命です。「改宗を迫るのではなく…具体的な生活を通して主キリストをあかす」(2022教皇メッセージより)
地域に出掛けていき教会のすばらしい姿を伝える、そのような宣教活動を心にとめたいものです。
○2022年「世界宣教の日」教皇メッセージ(全文)
○教皇庁宣教事業のサイト(国外では「ミッシオ」(Missio)とも呼ばれています)
※それぞれ、QRコードよりご覧になれます。

各地区にも宣教司牧評議会の立ち上げが必要です。もう既に存在している地区もあり、地区でも宣教司牧評議会が中心となって、ともに歩むこととなります。信徒、修道者、司教は共に集い、地区の現状を振り返り、他の地区とのつながりを大事にし、地区の歩みを支えていくために話し合い、必要な事柄を決めます。地区でも、各小教区や委員会の代表者は、地区の宣教司牧評議会への参加を優先していただきたいと思

新築された小倉教会(北九州小倉北区 主任・深堀勝人神父)の新聖堂献堂祝別式が、8月15日(月)、同教会の保護聖人、被昇天の聖母の祭日に盛大に行われた。昨年8月、旧聖堂の解体に続いて、同地に着工し、この日を迎えた。当日は晴天に恵まれ、午後2時、オルガン演奏の中、北九州地区の司教、歴代の主任・助任司教、同教会出身司祭など17人の司祭、そしてヨ



ゼフ・アベイヤ司教が入堂して式が始まりました。コロナ禍で人数制限が敷かれる中、小倉教会の信徒、北九州地区各小教区の代表など200人が、また新聖堂に入りきれなかった信徒は信徒会館での動画配信で式に参列した。司教は説教で、「新聖堂が、互いに与えられた恵みを分かち合いながら、信仰を養い、多くの人を温かく迎える場になるように」と論じた。続いて祝別式に移り、まずキリストの象徴である祭壇に、ついで聖堂の柱に、それぞれ聖香油が塗油された。引き続き、新しい神の家、神の民の家ではじめてのミサがささげられ、参列者一同心をひとつにして、すべてを導かれた神に賛美と感謝をささげ、これからの歩みの

わたしの家は、すべての民の祈りの家と呼ばれる
小倉教会 献堂祝別式
(マルコ11:17)

教区報で教区の五つの委員会を紹介されました。宣教司牧評議会の最初の集まりは2023年1月に予定されています。その後、各委員会の活動を充実させていくことになり、皆さんのご協力をお願いします。希望を持って、福音宣教の月間を過ごしましょう。ヨゼフ・アベイヤ

「必要なのはただ、純粹に、単純に、民になりたいという望み、…不断に根気強く働きたいという、無欲な望みです。」(教皇フランシスコ 回廊「兄弟の皆さん」77)
私は外国人技能実習生や留学生の相談を受ける活動や、長崎県の大村入国管理センター収容者との面会活動を続けています。活動を通して、「何よりも大切なのは一人の人間の命、人間の尊厳」

と強く感じます。外国人支援のネットワークの中で小さな歯車として働くことができることを喜びのうちに体験しています。現在、大勢の外国人技能実習生が日本で働いています。ベトナム人が多く、カトリック教会でも多数ミサに参加しています。人間としての尊厳を大切にされず、即戦力として安価な労働力のように扱われている実習生が多いです。コロナ禍の影響もあって、教会内外から実習生の相談が続いていきます。彼らの相談を聞き取るために、ベトナム人信者の方が通訳をしてくれて感謝です。また大村入管面会活動では、今年3月1日、6年以上

上にはさらなる祝福を願ひ、宣教への決意を新たにしました。新聖堂建設の歩みは15年前、当時の信徒会長・故武田晴行氏の提案に始まる。途中、聖堂建て替えの必要と建設資金積み立てをめぐってなかなか意見の一致を見ず、建設検討委員会が二度立ち上げられるなど、紆余曲折を経験した。現運営委員会会長の内藤正氏は、「様々な意見の相違による作業の遅延、労務費・建築資材の高騰や、設計の見直しによる新たな献金の呼びかけなど数々の困難に直面しましたが、これらすべてが完成にいたるまでに必要なことでした」と語る。新聖堂は、延べ床面積2020㎡、聖堂床面積471㎡、信徒席数1622席、216である。耐震・耐火基準に準い、聖堂外のトイレと倉庫が建て替えられた。「後世の信徒に負担を残さない」の理念と建設資金の両立を図った結果、2階建ての旧聖堂に代わって1階建てとなり、収容人数は半分ほどに減ったが、「身の丈に合った

大村入管に収容されていたベトナム人収容者ケン・バン・フンさんに在留特別許可が下りました。私が彼に面会をするようになって3年になります。ポートピアブルとして1989年に日本に来たフンさんはカトリック信者です。福岡教区でも多くの方が賛同し、署名してくれたお陰です。フンさんは大村で元気に生活しています。教会の枠を超えて社会と繋がり、出会いと交わりに感謝して、主の福音を探し、祈りのうちに歩みたいと思っています。社会福音化委員会 難民移住移動者部 黒崎教会 有吉和子

一カトリック小倉教会一
小倉の宣教は、1887年(明治20年)、『ラゲ訳新約聖書』で有名なエミール・ラゲ神父(パリ外国宣教会)によって始められた。そして1890年、有安秀之進神父が現在地に借家を得て定住し宣教。1900年、最初の聖堂を建立した。その後、建て替えなどを経て、戦時下に倒壊したが、戦後、徳山登(トクベフ)神父(パリ外国宣教会)が赴任して、1958年に再建した。小倉教会では、年間を通じて北九州地区諸教会の諸行事や集会、その他が行われている。現在小倉教会の在籍信徒数は2,146人(2021年現勢報告より)

「街のシンボル」となるよう、外観だけでなく、老若男女全員で信仰を証し歩みたい」と喜びと決意を語った。※献堂式の模様は、下記QRコードから視聴できます。

「主は尊い生きた石」(ペトロの手紙一2章4節)というみ言葉が響いてきた。生きていくキリストの心に聴き従い、ゆつくりと確かに信仰を積み上げ、救いの道を歩むことができる人生を与えられていることに感謝したい。(G)

全国各地の城に築かれた石垣を見てまわるのが人気のようだ。あるテレビ番組で、戦国時代からの職人の系譜を継ぐ現代の石工が、「ここに積んでほしい」と言う石の声を聴きながら、設計図なしに一つひとつ積み上げると話すのを聞いた。確かに、城壁は石工たちが精魂込めて積み上げた芸術作品のように見える。石垣以外にも様々な石積み建造物を見ることができ、教会もその一つだろう。▲アシジの聖フランシスコの半生を描いたイタリア・イギリス合作映画で、1972年に公開された「ブラザー・サン・シスター・ムーン」の挿入歌に「ザ・リトル・チャーチ」がある。フランシスコが、野原に建つ小さな壊れかけた石造りの教会を、一つひとつ石を積み上げて再建する場面に挿入されている。英語歌詞の一部を訳すと、「いちにち、また、いちにち、石をひとつ、また、ひとつ、あなたの秘めた想いをゆつくり築きなさい」とある。▲友人は、ある仕事の進行に行き詰まっていた時に偶然この歌に出会った。そして、「作業の一つひとつがあの石で、ゆつくりでいいから積み上げるよと励まされているように、ずっと心に響いてきます」と語った。歌は、「いちにち、また、いちにち、あなたも成長し、天の栄光がわかるようになるでしょう」で終わる。▲語りかける石と聞いて、「主は尊い生きた石」(ペトロの手紙一2章4節)というみ言葉が響いてきた。生きていくキリストの心に聴き従い、ゆつくりと確かに信仰を積み上げ、救いの道を歩むことができる人生を与えられていることに感謝したい。(G)

「必要なのはただ、純粹に、単純に、民になりたいという望み、…不断に根気強く働きたいという、無欲な望みです。」(教皇フランシスコ 回廊「兄弟の皆さん」77)
私は外国人技能実習生や留学生の相談を受ける活動や、長崎県の大村入国管理センター収容者との面会活動を続けています。活動を通して、「何よりも大切なのは一人の人間の命、人間の尊厳」

New "Foreign Language Section" is on page 4. 7月号より4面に「外国語コラム欄」をスタートしました。 福岡教区・教区報編集部

第二回 司祭評議会

7月26日、大名町教会1階ホールにて今年度二回目の司祭評議会が開かれた。

今春発表された「宣教司牧方針」に従って福岡教区の組織の見直しが行われているが、司祭評議会の新会則に基づいて各地区から評議員が推薦され、職務上3人と司教推薦の7人を含め、23人の新しい司祭評議員が発表され、併せて教区5地区の地区長司祭も公表された(8月2日付け教区HP参照)。また、司教顧問会のメンバーも、8月10日付けで発表された(8月17日付け教区HP参照)。

新しい評議員での評議員会は10月4日に開催される。福岡教区司教顧問会と福岡教区司祭評議会は司教の諮問機関であり、この会合において教区内のさまざまな課題につ

いて、司教からの諮問にこたえていくことになる。なお議題決定については、評議員司祭や地区長司祭からの提案も考慮される。今回の評議会のために教区創立100周年について各地区で検討し意見を持ち寄ることが求められている。教区宣教司牧評議会は来年1月発足を目指して準備が進められているが、司祭評議会として「教区宣教司牧評議会規約」が承認された。

聖体奉仕者養成部からは、コロナ禍で延期されている養成講座を、来年に地区ごとで開催する方向で検討する旨が報告された。

カリタスジャパン部からは「Together We」キャンペーンへの参加が呼びかけられた。教区財政の見直しについても検討された。教区の経済問



死囚囚えん罪について語る古川住職

2022カトリック平和旬間 平和のために働く決意を新たに

福岡地区 信徒使徒協同協議会

8月11日(山の日)、カテドラル大名町教会で、2022カトリック平和旬間賛同企画「平和を祈る集い」(主催・福岡地区信徒使徒協同協議会、共催・社会福音ネットワーク福岡)が、昨年同様、コロナ禍での人数制限と共に、YouTubeライブ配信の併用で開催された。テーマは、あなたがたに平和があるように。

今年度は午前第一部「死囚囚えん罪勉強会」(講師・古川龍樹住職 生命山シユバイツァー寺)、「3・11あの日、あの時プロジェクトパネル展」(被爆マリア像と共に平和を願う祈りの会)そして午後の第二部に講演会「平和を求め、追いかけて」(講師・森山信三司教)、「第三部インターナショナルミサ」(アベイヤ司教司式)の三部構成で、信徒、教区内外の修道者と司祭(長崎教区からも1人の司祭)延べ人数330人が参加した。

YouTube視聴回数は当日夕方迄で330回を超える。第一部の古川住職の勉強会は満席で、アベイヤ司教や数名の司祭も話を聴いていた。また大聖堂には、長崎の浦上教会より特別に貸し出された「被爆マリア像」のパネル写真が安置されており、参加者は沈黙のうちに祈り、最後は聖パウロ修道会のBr.阿部光一とテゼの祈りを唱えた。

～ 聖書週間から聖書習慣へ ～



毎年11月、聖書に親しみ、聖書をより正しく理解するための運動として「聖書週間」が定められていますが、年に一回の機会だけでなく、常に「聖書習慣」を身に付けることを実践したいものです。

今号では、幼きイエス会(ニコラ・パレ)・福岡修道院のシスターが行っている「福音の分かち合い」を紹介します。

幼きイエス会(ニコラ・パレ) “陽だまりルームスポット”

「神は御自分にかたどって人を創造された。神にかたどって創造された」(創世記1章27節)。主なる神は、土(アダマ)の塵で人(アダム)を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった(創世記2章7節)・・・神様の深い愛によって、神のみ手で直接的に形作り創造された私たち一人ひとりのいのち・・・

2007年の新聞記事では、小さな子どもの虐待死が増加している記事が驚く程たくさん目に留まり、取り巻く家庭、社会の背景に潜む人間の尊厳の問題が心に響きました。そこで、一人ひとりが神様の深い愛によって創造されたいのちであることを自覚し、そのいのちの尊厳を体験していく場が与えられることを願い、14年前に“陽だまりルームスポット”の集まりを始めました。

毎週火曜日午前10時から12時頃まで、カトリック浄水通教会の信徒会館2階に集まります。そして私たちの内に共にいて、どんな時にも私たち一人ひとりを受け止め、愛を注ぎ続ける神様の愛に触れるために聖書を聞き、みことばの中に入ります。

その後、キリスト教人間観に近い心理学の理論を学び合い、お互いを深め合いながらロールプレイングを体験します。子ども役、親役をそれぞれのグループで決め、一方的な閉じた会話と互いが認め合う開かれた会話を体験します。そして、その時の互いの感情、思い、言葉を共有します。その後の参加者同士の分かち合いでは、神様に集められた共同体を祝福しておられる陽だまりを受けます。子どもだけでなく、私自身も尊厳を持っていて、自分を弱く、偏りを持ちながらも、今日もよりよく生きたいと願うかけがえのない存在であることを陽だまりの中で感じ合っています。

陽だまりの中での分かち合い

幼きイエス会 Sr.金公女

第二部の講演会では、森山司教が、ヨハネ23世教皇の回勅「パーチエム・イン・テリス」をはじめ、回勅、メッセージ、書籍、冊子を紹介しながら、平和への道は正義の実践である」と熱く語った。

第三部のインターナショナルミサは、アベイヤ司教司式、森山司教他15人の教区内外の司祭の共同司式で行われた。アベイヤ司教は説教で、



行動を促す森山司教

「キリストの平和でああなたが支配されるよう心を開き、平和のために働く決意をしましょう」と述べた。

ロシアによるウクライナ侵攻など、世界には平和でない中で生活を強いられている人々が沢山いる。祈りと共に行動することの大切さをあらためて感じた集いであった。なお、福岡教区では、来年度の平和旬間に向け、教区全体で取り組む企画の検討を進めることにしている。

※この模様は、下記QRコードから視聴できます。

北九州地区信徒使徒協同協議会が例年開催する「平和を祈る集い」は、今年もコロナ禍を憂慮し中止したが、「平和のために何かできること」との想いから、同じ日に祈りを捧げることを決めた。

熊本地区・山鹿教会 8月8日(月)朝ミサ後、ウクライナの平和に向けたフランシスコ教皇の祈りを捧げ、主任司祭のダ・ロイト・シルバノ神父より、同教皇の「世界平和の日」メッセージと、現在世界で起こっている40以上の戦争・紛争の説明があり、その後、戦争・平和の体験や意見を分かち合った。

朝鮮・清津市で幼少期を過ごしたFさんは、ソ連軍の占領で故郷を追われた記憶から「戦争は女性・子どもが犠牲になる」と、ウクライナの現状に自身の想いを重ねた。Yさんは満州での幼い頃の思い出を短歌で説明。母親が終戦間近に亡くなったこと、敗戦翌日の八路軍による家ありしを祖母が仁王立ちで追い払った話、父親が銃殺刑になるも急所をまぬがれ生き残れた話、そして近所の人々の援助による引き揚げを語った。

最後に分かち合いの継続を誓い、アシジの聖フランシスコの「平和の祈り」を唱え、閉会。それぞれが平和の想いを抱いて教会を後にした。報告||信徒会長 森田貴博

福岡教区常設委員会・広報委員会の紹介 ③ 今年度、福岡教区常設委員会は5つに再編成され、7月号より各委員会を紹介してきます。福岡教区ハンドブック2022(参照)。

不動産全般/売買・賃貸・管理 ほんでもお問い合わせください (株)ジャパン・スマイルか

総合建築業 一般住宅(新築・改築工事) 鉄骨工事 R.C工事 森山工務店

人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は モリロード赤一丸 薬院・油山・野芥・小田部・今宿

別れ・出逢い・旅立ち 草苑 (SOU-EN) カトリックのご葬儀 互助会制度もご利用できます。

【委員長 山元眞神父】 教区の広報活動を担当し、

【委員長 十時伸治神父】 青少年の様々な活動を推進する委員会である。三つの部門によって構成される。また、各地区で青少年活動を担当する司祭も委員会のメンバーになる。

【委員長 山元眞神父】 教区の広報活動を担当し、

【委員長 十時伸治神父】 青少年の様々な活動を推進する委員会である。三つの部門によって構成される。また、各地区で青少年活動を担当する司祭も委員会のメンバーになる。

【委員長 山元眞神父】 教区の広報活動を担当し、

【委員長 山元眞神父】 教区の広報活動を担当し、

【委員長 山元眞神父】 教区の広報活動を担当し、

【委員長 山元眞神父】 教区の広報活動を担当し、

【委員長 山元眞神父】 教区の広報活動を担当し、

【委員長 山元眞神父】 教区の広報活動を担当し、

【委員長 山元眞神父】 教区の広報活動を担当し、

【委員長 山元眞神父】 教区の広報活動を担当し、

【委員長 山元眞神父】 教区の広報活動を担当し、

知りたい！ 福岡教区内の 修道会 宣教会⑥

福岡教区には現在 30 の修道会・宣教会から司祭・修士・修道士が派遣され、それぞれのカリスマで働いておられます。今春より紹介している、その修道会や宣教会。第6回は、コングレガシオン・ド・ノートルダム修道会です。

コングレガシオン・ド・ノートルダム 修道会

私どもコングレガシオン・ド・ノートルダム修道会（以下C.N.D.）は、ご訪問と聖霊降臨の精神を生きる聖母マリアに倣う女性の集まりです。創立者聖マルグリット・ブルジョワは、1620年にフランスのトロワで生まれました。祈りと熟慮の末、1653年にカナダへ渡り、1700年に天に召されるまでカナダでの教育活動に献身しました。1678年には念願の女子修道会一必要とされることへはどこにも出向くことができない禁域のない修道会一を教会の認可のもとに創立しました。以来、会員は教育をとおして神と人々の奉仕に身を捧げる生活を送っています。現在、カナダからアメリカ、中米、アフリカにも広がっており、姉妹数は約600人、日本には47人の会員がいます。

聖マルグリット・ブルジョワ像
(明治学園小学校前)



5人のカナダ人シスターが初めて福島への派遣されたのは1932年のことでした。1935年には修道院が完成し、宣教活動も次第に軌道に乗り始めました。しかし、1941年、太平洋戦争が勃発しますと、修道院は国に没収されて外国人の抑留所とされました。

戦後修道院は返還され、幼稚園から短大まで順次開校し、1955年には総合学院としての「桜の聖母学院」が誕生しました。その間、調布市には「マルガリタ幼稚園」も開園しました。

1948年、明治学園理事長安川寛氏は学園移管を進めていました。これを耳にしたパリミッション会の神父様方は、北九州市にぜひカトリック校をとの熱望のもとに東西奔走し、ついに念願を叶えることができました。それに伴い4人のシスターが戸畑に着任したのは1949年のことでした。以後、安川敬一郎氏の気高い創立の趣旨を継承し、学園の教育をさせていただいています。

C.N.D. 共通の教育理念は「まことの自由への教育」ですが、それを教育の場で具現化し「神の愛を知り、人々のための人になる青少年」の育成に寄与できるなら、望外の喜びです。

来日90周年にあたる今年、創立者の「私たちは教会の娘」という強い望みを新たに、福岡教区の皆さまと共に歩んで行きたいと思えます。C.N.D. 仙水町修道院院長 Sr. 吉田ツギヨ

7月30日(土)から31日(日)にかけて、行橋・豊津教会(主任・下町豊重神父)の教会学校が、世界遺産・天草津集落を中心に巡礼キャンプを行った。



天草四郎と同じポーズで！

初日は台風を追いかける状況の中で、マイクroバスは崎津へと急いだ。途中、三角休憩所で弁当を食べ、待ちに待った天草のイルカウォッチングを行った。



シルバノ神父の講話を聴く子どもたち

その後、見送りの方々に手を振り、大江教会とロザリオ館(キリシタン資料館)を見学し、本渡のキリシタン館に足を運び、松島に浮かぶシードーナツ(海中水族館)で一泊を過ごした。最後はお土産を買って帰途に着いた。

参加者は、神の創造豊かな自然を満喫し、祈りと合同ミサ、教会拝観や資料館見学で信仰の糧をもらい、他の教会の人々との交流で結びつきを実感するなど多くの体験を心に刻むことができた。そして、天候にも恵まれ、奇跡的で感動的な二日間を過ごせたことを神と、祈りや援助を通して支えてくれた人たちに感謝した。思い出を胸に、参加者がますます教会の奉仕に学びにと勤しむことを期待している。

思い出を刻んだ、 子どもたちの夏

行橋教会学校 巡礼キャンプ

熊本地区宣教司牧評議会主催による「子どもたちのためサマーキャンプ」

緒方和美

のサマーキャンプ」が8月1日(月)、健康教会を主会場として開催された。参加者は県内7小教区から合計29人。午前10時集合後、オリエンテーションでは子どもたちへ続き保護者、支援者も全員自己紹介。その後、ダ・ロイト・シルバノ神父(菊池・山鹿教会主任)による七つの質問「何を、どこで、いつ、誰が、どういう風に、なぜ、誰と」から始まり「心の中で返事を探しましょう。イエス様が神父さん、お父さん、お母さん、友だちを通してあなたに返事をします。ミサは感謝の祈り、神様との対話です。前半は聖書朗読と説教、後半は『感謝の祭儀』でパンとぶどう酒をイエスの体と血に変えます」という「ミサについて」の講話を聴いた。続いて平田三好神父(武蔵ヶ丘主任)を主司式に熊本地区8人の神父で合同ミサが行われ、説教を担当した浦川務神父(崎津・本渡・大江教会主任)は「一番身近な周りの人のことを考え、皆

を笑顔にしましょう。午後の水遊びでも、皆で楽しさを分かち合うチャンスにしてください」と分りやすく語った。昼食では、参加者全員が車座に座って親しく歓談し、午後は近くの「じゃぶじゃぶ池」で、水をかけ合ったり、捕虫網で魚を捕ったりと、自然の中でひとときを満喫した。最後に櫻井尚明神父(手取教会主任)から「コロナ終息後は泊まりのキャンプに行きましよう。クリスマスキャン

プもありませよ」と期待を持たせる挨拶があり、「イエスさまがいちばん」の聖歌を歌い四時頃解散した。コロナ禍で2年間すべての行事を中止していたが、久しぶりに会う仲間との交流は、子どもたち、保護者同士の絆を深め、共に歩む教会の一員として、新たな思いと勇気を心に刻むキャンプとなった。報告 手取教会・小野豊和

コロナ禍での 医療従事者の現状 前編

新型コロナウイルスが襲来してほぼ3年が経ち、今や第7波を迎えている。久留米市の社会医療法人「雪の聖母会」聖マリア病院(谷口雅彦院長、1097床)は、新型コロナウイルス感染症の最前線で患者と向き合っている医療機関の一つ。その中で治療や療養に直接関わっている看護師たちの日々の悲喜もこもを探った。

前編では、看護師長の東島美由紀さんが病院の逼迫状態などについて語る。

ましよう。クリスマスキャン

東島さんは、「医療ひっ迫の中で、スタッフ一同が使命感を持ち患者さんに安心を与えるために一所懸命に頑張ったと同時に、いろいろな人たちから応援をいただいた。感謝の気持ちでいっぱいです」と話した。※看護師長・東島さんのインタビュー動画を下記QRコードから視聴できます。

聖マリア病院は、新型コロナウイルスが世界に広がりに始めて間もない2020年4月に「コロナ棟」を設けた。最初は「未知の感染症」だったため、当時のスタッフ全員が精神的な不安を抱えながら仕事を続けたという。通常の感染防止対策を強化して、患者やスタッフを守るために細心の注意を払った。それでも、病棟で感染が起り、隔離された患者の一部は、院内での隔離の理由に戸惑い、隔離がいつ終わるか分からないという先の見えない状態が、患者にもスタッフにもストレスの原因となったという。



聖マリア病院は、新型コロナウイルスが世界に広がりに始めて間もない2020年4月に「コロナ棟」を設けた。最初は「未知の感染症」だったため、当時のスタッフ全員が精神的な不安を抱えながら仕事を続けたという。通常の感染防止対策を強化して、患者やスタッフを守るために細心の注意を払った。それでも、病棟で感染が起り、隔離された患者の一部は、院内での隔離の理由に戸惑い、隔離がいつ終わるか分からないという先の見えない状態が、患者にもスタッフにもストレスの原因となったという。

東島さんは「面会が不可能など様々な制限の中、患者さんとご家族のため、患者さんの様子が写っている動画をご家族に見せたり、状況を伝えたりして少しでもお互いの支えになるようにスタッフが頑張った」と話した。

そして、今年の7月後半に第7波が襲ってきた。これまで経験したことのない強い感染力を持つオミクロン株の一種であるBA.5では、今度は対策を施す医療従事者にも感染が広がり、人員不足という新たな危機への対応をせざるを得なかったという。「普段は、別の病棟から人員の協力をもらっていたが、第7波のときにはすべての病棟で同じ人員不足になったため、なかなか難しかった」と、東島さんが振り返る。

コロナ禍で大学に通えず、ほとんどの時間を家で悶々と過ごしていた若者。学校へ続く道から目に入る、コンビニへ行く時も前を通る、ちよつと気になる建物。それは教会だった。彼を待つ運命は...。人と人生を比べてみじめな気持ちになる。他人を信用できず、好きになれない。そんな方に、絶望から一歩踏み出すドアのあり処を示す。「数ある教えや思想のなかで、キリスト教にもわりと見方、考え方があり感じてもらえたら」(著者)。

何を信じて生きるのか 片柳弘史

BOOK 読み専科

広告掲載をご希望の方は 下記までお問い合わせください

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

キリスト教書籍・用品 お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ!

年間目標 キリストの愛に駆り立てられて 人々と共に歩む教会

一みことばのお弁当

今年度テーマ「福音の女性たちと共に」

日時：10月27日(木) 10時～13時
内容：ベタニアのマリア(ヨハネ12章1-11節)の解説、沈黙、分かち合い
同伴者：レナト・フィリピーニ神父(宣教・養成委員会 信徒養成担当)
場所：大濠カトリック会館 福岡市中央区大濠1-7-14
電話：080・9101・8717(申し込み不要)
※昼食は各自お弁当持参で

FABC 50周年総会

FABC (Federation of Asian Bishops' Conferences アジア司教協議会連盟)は、中東を除くアジア地域の司教協議会が加盟している連盟で(事務局長:東京教区・菊地功大司教)、教皇パウロ六世の1970年マニラ訪問の機会に設立されました。

このFABCの50周年を記念する総会が2022年10月12日(水)～30日(日)にバンコクで開催され、ヨゼフ・アベイヤ司教も参加します。

詳細は右記QRコードよりご覧ください。(外部リンク:カトリック中央協議会)



福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

案内板

会合と催し

10月のこよみ

神学院祭2022

【日時】11月3日(木・祝) 9時～13時
【場所】福岡カトリック神学院



★雨天時は中止とし、福岡教区ホームページにて、当日朝6時までに発表されます。
★飲食物の販売はありません。昼食をご持参の場合、神学院グラウンドを使用されても構いません。



★詳細は右記QRコードよりご確認ください。

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ:イエス様のように祈る
日 時:10月13日(木) 10時～15時
内 容:「イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えて」(ルカ22・19)
指 導 者:S.フランコ神父(聖ザベリオ宣教会)
問合わせ先:真命山諸宗教対話センター
次 回:11月10日(木)
「イエスは天を仰いで言われた。父よ…」(ヨハネ17・1)

☎0968・85・3100 FAX)0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7
E-mail shinmeizan@gmail.com
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

- 1日(土) 聖テレジア(幼いイエスの)おとめ教会博士
2日(日) 年間第27主日 新田原教会教会・堅信式(1日～)
4日(火) 司祭評議会 聖フランシスコ(アシジ)修道者
6日(木) 常任司教委員会(5日～)
7日(金) ロザリオの聖母
9日(日) 年間第28主日 今村・本郷教会教会・堅信式
10日(月) 熊本地区研修会
11日(火) アジア司教協議会(タイ・バンコク)(～31日)
15日(土) 聖テレジア(イエスの)おとめ教会博士
16日(日) 年間第29主日
18日(火) 聖ルカ福音記者
22日(土) 聖ミカエル鈴木忠一(2020年 御受難会)
23日(日) 年間第30主日 世界宣教の日(献金)
26日(水) 聖S.ライル(2012年 ファミリーセンター)
27日(木) 聖H.キニユ(2004年 天神町教会)
28日(金) 聖シモン・聖ユダ使徒
29日(土) 聖T.アクイナス大木章次郎(2015年 伊万里トラピスト)
30日(日) 年間第31主日
【11月】
1日(火) 諸聖人
2日(水) 死者の日
3日(木) 神学院祭(YouTube配信)
5日(土) 聖B.ガラハ(2014年) ■ゴシックは司教日程

468・3631西田
(日時)10月21日(金) 10時ミサ後(場所)高宮教会・小聖堂(問合せ先)☎090・792・921・4532山口

美野島司牧センター
降りてきてくださる神様とともに働きましょう。
ホームレスの方に手作りの

熊本地区召命を共に祈る会
(日時)10月17日(月) 9時50分(場所)手取教会(内容)ロザリオ、召命祈願ミサと話し合い(問合せ先)☎0969・79・0015崎津教会・浦川務神父

熊本
(日時)10月13日(木) 14時(場所)小倉教会(内容)ジョン・ウオンチヨル神父(小倉教会助任)司式によるミサ(問合せ先)☎0949・24・9905藤井

感染症の状況によっては開催が中止となる場合もあります。
アジジの聖フランシスコ帰天祭(日時)10月3日(月)18時(内容)フランシスコの死を祈念し、賛歌・遺言の朗読後、フランシスコ誕生のお祝い会(場所)高宮教会(問合せ先)☎080・5266・9048秦

福岡ホスピスの会「がん」を通して人生を語る会・がん哲学外来「ぬくみカフェ」
①10月22日(土) 14時～16時30分※リモート(無料)(申込み)terejia-tampopo@par.odn.ne.jp※申込みは20日迄

北九州
(日時)10月13日(木) 14時(場所)小倉教会(内容)ジョン・ウオンチヨル神父(小倉教会助任)司式によるミサ(問合せ先)☎0949・24・9905藤井

編集後記
コロナ禍で中止が続いた聖モニカ祭(福岡地区カトリック女性の会主催)が3年ぶりに大名町教会で開催され、集った150人近い人々と共に参加した。毎年8月27日、同会の守護の聖人聖モニカの祝日に感謝のミサを捧げ、1年間に亡くなった人の追悼式を行う。主司式の中村彰神父(司教総代理・大名町教会主任)は説教で、「母の心は、神様の最高傑作」とも言われます。無条件で惜しみなく愛を注ぐその心で、日々教会を支えてくださり感謝します」と日頃の奉仕を讃えた。

Thankful for the Catholic Church in the Diocese of Fukuoka
Patricia Flores (The Philippines)
Our Lady of Victory Cathedral (Daimyo-machi Catholic Church)
My week wouldn't be complete if I didn't go to church. It "keeps me sane" and gives me the spiritual energy to get through the week ahead.
My entire family is Catholic: devout Catholics I would say. I grew up with my mother being an active member of the Legion of Mary, and my sisters and I were all members of the church choir. We were brought up going to church together as a family every Sunday. So when I moved here to Japan, the first thing I did was to look for a church with English-language masses.
Being a volunteer lector at the English mass at Daimyo Catholic Church, I am known to most of the parishioners and I know most of the regulars. And I try to be welcoming to the newcomers in the same way that I was welcomed when I first attended mass at Daimyo Catholic Church.
I've been going to Daimyo Catholic Church for a long time and have participated in countless activities with the parishioners, and so I feel very much "at home" there. I thank the Lord that He led me to Daimyo Catholic Church in Fukuoka.
毎週、教会に行かなければ私の一週間は完了しません。教会は私の心を平常にし、次の週を乗り切る力を与えてくれます。
家族全員が信仰深いカトリック信者です。母は私が幼い頃からレジオ・マリエの熱心な会員で、私や姉妹たちは聖歌隊のメンバーでした。日曜日には一家揃って教会に行くという家族の中で育ったのです。ですから、日本に移住した時に、まず英語ミサがあるカトリック教会を探しました。
現在、英語ミサで朗読奉仕をしているので信者たちによく知られており、毎週欠かさず教会に来る信者とは顔見知りです。私は、大名町教会を初めて訪れたときに優しい歓迎を受けました。今では、初めて教会に来た人たちに、私がその歓迎をしています。
これまでの長い年月、信者の皆さんと数えきれないほどの活動に参加してきたので、教会にいる時は自分の家にいるような感覚になります。この教会への神の導きに感謝の気持ちでいっぱいです。



インタビューに答えるアンナさんとパトリシアさん

福岡教区・広報室から
皆様のベストショット(風景や季節の植物、動物etc)や、イラストをお寄せください。趣味で撮影された写真や書き溜めたイラスト(カトリック関係のもの以外でも、景色や似顔絵etc)など大歓迎!教区ホームページの「音声説教」の背景写真や、教区報の挿絵、教区内(小教区、修道会、関係各所含む)配布の刊行物などに使用させていただきます。
作品は誰でも使用できる「著作権フリー」の素材としてご提供をお願いいたします。広報室へメールに添付いただくか、直接郵送のどちらでも構いません。
カトリック福岡司教区 広報室 (cdf-kouhou@nifty.com)
〒810-0028 福岡市中央区浄水通6-28 カトリック福岡司教区本部事務局 広報部

私たちと一緒に おはなしませんか?
安心してお話が出来る人をお探しの方へ。
メール: hanahanahimawari2020@gmail.com
☎: 080-4735-6971 (9:00-21:00)
※対応できないときもあります。
※原則1回30分です。
LINE 右記 QRコード
「ぶろじゅくとHana」
ぶろじゅくとHanaは、社会福祉士・看護師・シスターなどが在籍している、礼拝会を中心としたグループです。

福岡教区セクハラ対応窓口
セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談
セクシュアル・ハラスメント相談窓口
電話 080-2694-4182
受付時間 月～金(祝日を除く)
10:00～12:00 13:00～16:00